

(仮称) 掛川市緑茶で乾杯条例骨子案に関する意見公募について (結果)

- 募集期間 平成 30 年 12 月 3 日 (月) から平成 31 年 1 月 7 日 (月)  
 □ 提出件数 16 件 (4 人)

No.	項目	意見の概要	市の考え方
1	全体	条例は理念条例と拝察するが、理念を具現化するための予算措置や啓発母体の編成など、条例制定が市政の最高位の規範事として、市民主体の啓発活動ができる対応が考えられているのかを伺う。	条例に基づく具体的施策を検討して参ります。推進体制については、市民、市、茶業関係者、飲食業者等が幅広く取り組める体制の構築を検討して参ります。
2	前文	深蒸し茶という単語がどこにもないことから、この辺りに入れられると思うが如何か。	幅広く緑茶全体の振興を図ることで、掛川茶(深蒸し茶)の消費拡大に繋がることを目指します。
3	前文	最終行「掛川市と緑茶の情報を発信することを目指す」。この文章がよくわかりにくく感じる。愛飲という単語もあるが、情報を発信するだけで宜しいのか? 分からない。	乾杯の文化が醸成することで、品質だけでなく新たなストーリーが加わり、このことが国内外に情報発信されることで、掛川市と掛川茶のブランド力の向上、ファンの増加、消費拡大に繋がることを期待します。
4	前文	「掛川市と緑茶の情報を発信することを」の言葉が前後の流れとつながっていないと感じます。 「世界の人々に楽しんでもらう⇒お茶乾杯する新しい文化を醸成し浸透させること目指し、この条例を制定します」の方がわかりやすいです。	この条例は、緑茶等で乾杯を行う文化を醸成し浸透させることで、産地としての掛川市と緑茶の情報発信力を強化し、骨子案1目的で定める緑茶の消費拡大等を図ることを最終目的としていますので、骨子案のままとさせていただきます。
5	前文	もし、趣旨の中に情報発信を入れるのであれば「1目的」にも地域経済の活性化に加え、情報発信によりもたらされる国内外の掛川市の認知度向上も目指す姿として盛り込んだらどうかと考えました。	骨子案1目的の「地域経済の活性化」は、産地としての掛川市及び緑茶の認知度向上を包括しているものと考えています。
6	1目的	味の多様性という言葉で想像するのは、乾杯だけではないと考えるが、如何か。	緑茶のみならず、緑茶を使用した飲料及び酒類による多様な飲み方を広めるきっかけとして、新たな乾杯の文化の醸成を目指します。
7	1目的	「もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする」。この条例は、地域経済の活性化が目的であり、あこがれる茶文化創造という方向性は、目的にはならないという見解で宜しいか。	茶文化の醸成を図ることも目的としています。理解しやすく、字句を整理します。

8	3 茶業関係者の役割	<p>「お茶で乾杯」は、飲食店をはじめとした茶業関係者だけでない事業者（飲食、サービス業、観光、小売等）の取組が非常に重要になる。</p> <p>そのため、茶業関係者と同様に重要な役割とわかるよう、「飲食・観光業関係者」などの項目を頭出しした方がよい。</p> <p>その上で、飲食・観光業関係者の役割を明記されたい。</p>	<p>条例で、飲食業、サービス業、観光業、小売業等を全て列挙することは困難ですが、これらの事業者を「緑茶等を提供する事業者」として表現するよう字句を整理します。役割についても、条例で細かく表現することは困難ですので、茶業関係者（緑茶を生産、加工、販売する事業者）の役割と包括的に整理します。</p>
9	3 茶業関係者の役割	<p>飲食サービス業や旅館業、小売りなどの役割を明文化されたい。</p> <p>茶業以外の産業としても良いかもしれない。茶業以外の企業に、他人事にされないような文言が欲しい。</p>	<p>No.8と同様に、字句の整理をします。</p>
10	4 市の役割	<p>この必要な措置は、具体的にどういうものを指すか？それを推測する文言が探しにくい。</p>	<p>条例に具体的な事業を定めることはありませんが、市は条例に規定する内容を実現するための具体的施策を検討することが求められることとなります。</p>
11	全体	<p>縁側カフェに始まり、駅前カフェ、子育てサロンカフェ、図書館カフェ、などなど。既に、お茶は家庭以外で飲まれることも多くなっている。お茶のまち掛川らしい「まちづくり」に、乾杯条例はどう寄与するのか？乾杯に捉われず、お茶愛飲の全てを対象にしたものは考えにくいものか。</p>	<p>既に行われている取組に加え、お祝いの席や人々が集う場において、緑茶等で乾杯する文化が醸成されることにより、掛川市が新たな文化の発祥地として、他産地と差別化されることが期待されます。乾杯文化の醸成をきっかけに、掛川市のいたるところで緑茶等が飲まれることは、市内外の方々に愛飲（好んで飲む）していただくことに繋がると考えます。</p>
12	自由意見	<p>お茶文化を「広める・普及・促進」という表現から硬い印象を受けます。掛川全体が「お茶と地域をもっと愛する」「誇りに思う」「大切にしよう」と守り続ける」という理念が重要な気がします。定義づけのための曖昧な表現は使えないのかもしれませんが、市民の心に響く言葉も入れてはどうかと感じました。</p>	<p>条例の骨子案については、いただいた御意見を含めた理念を市民に御理解いただくため、極力、わかりやすい表現としていますが、条例であるため、法令用語及び表現には一定のルールがあります。条例に基づく取組を推進する上で、条例の理念等をより理解しやすく、市民の共感を得られるような資料を作成し、活用して参ります。</p>
13	自由意見	<p>市民、事業者、市が足並みをそろえて取り組むことは素晴らしいと感じます。これこそ協働ではないでしょうか。そうした活動が掛川市のPRになり、住みよい街づくりにつながる期待があります。</p>	<p>条例に基づく具体的施策を検討し、推進してまいります。</p>

14	自由意見	<p>条例制定後の浸透活動も大切です。サプライチェーン全体を視野に入れ、小売・飲食を中心とした飲み物に携わる皆様への協力要請と場面づくりが必要と考えます。</p> <p>国内外の旅行者、出張者向けの情報発信及び体験も、交通機関、飲食、サービス業を中心に呼びかけることと、その際には言葉、色、デザイン等をブランディングしていく必要があると考えます。</p> <p>管轄省庁や各業界団体への積極的なPRも本格化させていき、特に要望だけあげるのではなく、ちゃんと地方都市は努力を重ねていることに注目してもらい、これからの自治経営のモデルとして発展することを願います。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、条例に基づく具体的施策を検討し、推進してまいります。</p>
15	自由意見	<p>文化が浸透している評価として、例えばお茶の消費量やお茶を扱う店舗数など、成果を計れる指標が欲しいです。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、条例に基づく具体的施策の推進による成果の指標について検討してまいります。</p>
16	自由意見	<p>この条例にこのまちの担い手の商工会議所青年部の担い手の皆さんが、声を挙げて下さって、茶業振興に心を寄せて頂いたことに、大変感謝しています。この貴重なご意見が、単なるパフォーマンスに終わることの無いよう、条例制定が目的ではなく、本来掛川市の担い手の皆さんが純粋に掛川茶に寄り添ってくださったご心配や応援する熱い思いが、将来花開くものとなってほしいと希望します。</p> <p>このような私の思いから、条例制定にかかる、様々な整えをお願いしたいと考えて意見を提出しています。予算措置はしない、市民に出来る事だけしてもらうという市役所の姿勢では、一過性のアドバルーンで終わってしまいます。</p> <p>ほんの一例ですが、先日商工祭で行ったお料理とのマッチングコンテストのようなものも素敵なアイデアだと感じました。ただ、このコンテストは3回開催出来ても、その後どうでしょうか？という心配に、やはり条例の範疇で行うことには予算措置は必要になります。お茶のまちづくり予算の中に組み込むことは大事でしょう。そのほかにも啓発組織や、人財の確保もどうでしょうか？ご準備は如何に。</p> <p>厳しい茶業情勢の中で、暗中模索の茶業者。廃業を考えている方々も多い時期になっています。そのため、茶業者が自ら関わるのが本来の姿ですが、関われない実情もあって、多くの市民の応援が頂けるよう、行政には条例制定ののち、その先に何をされるかを、明確にご説明を頂きたいものです。お願いします。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、条例に基づく具体的施策を検討し、推進してまいります。</p>